



## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東  
 コード番号 9419 URL <http://www.wirelessgate.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 武弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO執行役員管理本部長 (氏名) 小島 聡 TEL 03-6433-2045  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	8,890	△3.6	700	△29.0	581	△31.2	337	△35.8
28年12月期第3四半期	9,225	10.4	986	26.9	846	8.9	525	5.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 313百万円 (△39.8%) 28年12月期第3四半期 521百万円 (5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	32.53	30.61
28年12月期第3四半期	51.18	47.59

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	6,009	3,226	51.5
28年12月期	6,207	3,003	47.8

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 3,096百万円 28年12月期 2,966百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	ー	0.00	ー	27.00	27.00
29年12月期	ー	0.00	ー		
29年12月期(予想)				28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,097	7.0	819	△34.5	683	△37.8	415	△40.2	40.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	10,550,800株	28年12月期	10,420,400株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	95,138株	28年12月期	116,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	10,365,483株	28年12月期3Q	10,262,722株

(注) 平成29年12月期第3四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託の信託財産として、三井住友信託銀行株式会社（信託E口）が保有する当社株式42,138株を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8
3. 参考資料	巻末

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2017年1月1日～2017年9月30日)

売上高	8,890,876千円	前年同期比 334,577千円減(3.6%減)
営業利益	700,755千円	前年同期比 285,895千円減(29.0%減)
経常利益	581,986千円	前年同期比 264,389千円減(31.2%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,209千円	前年同期比 188,006千円減(35.8%減)

売上高については、前年同期比334,577千円減(3.6%減)の8,890,876千円となりました。

ワイヤレス・ビジネスドメイン事業(BtoB事業)については、前年同期比137,212千円増(110.3%増)の261,623千円と大幅に売上高を拡大しており、子会社LTE-Xに関しても9月にVAIO株式会社との業務提携に合意する等順調に事業を進捗させております。

ワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)については、前年同期比482,520千円減(5.3%減)の8,605,049千円となりましたが、新規会員の更なる獲得や既存顧客の退会防止に向けた追加施策を実施したこと等により、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスの売上は底堅く推移いたしました。

利益面については、利益率の高い公衆無線LANサービスの売上高が減少したこと、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスの顧客獲得に関わる販売関連費用が増加したこと、子会社LTE-Xにおける事業展開コストが増加したこと等により、営業利益は前年同期比285,895千円減(29.0%減)の700,755千円となりました。

また経常利益は、持分法適用会社ののれん償却が引き続き行われたことに伴い持分法による投資損失116,164千円が計上された一方で、前期に計上されていた上場関連費用18,649千円が当期は発生しなかったこと等により、前年同期比264,389千円減(31.2%減)の581,986千円となりました。

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

なお、法人顧客向け事業の売上高の明瞭化を図るため、前第4四半期連結会計期間より売上高の管理区分を見直しております。※

#### ① ワイヤレス・ブロードバンド事業

当第3四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ブロードバンド事業の売上高は8,605,049千円(前年同期比5.3%減)となりました。

##### イ. モバイルインターネットサービス

「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」については、新規会員の更なる獲得に向けた家電量販店での新たなキャンペーンや既存顧客の退会防止に向けた追加施策等を実施することで、売上の拡大に努めました。

「ワイヤレスゲートSIM」については、サービスラインナップの見直しにより収益性の改善を図るとともに、インバウンド向けのプリペイドSIMの販売強化に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットサービスの売上高は8,081,224千円(前年同期比4.8%減)となりました。

##### ロ. 公衆無線LANサービス

家電量販店における新規会員の獲得が鈍化していること等から、当第3四半期連結累計期間における公衆無線LANサービスの売上高は447,539千円(前年同期比13.1%減)となりました。今後、家電量販店以外の販路の拡大やWi-Fiスポットの拡充により収益の拡大を目指してまいります。

##### ハ. オプションサービス

家電量販店等において取り扱いを行っている「電話リモートサービス」、「スマート留守電」等の販売になります。当第3四半期連結累計期間におけるオプションサービスの売上高は76,285千円(前年同期比5.7%減)となりました。

## ② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業

当第3四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ビジネスドメイン事業の売上高は261,623千円(前年同期比110.3%増)となりました。子会社L T E - Xに関しても9月にVAIO株式会社との業務提携に合意する等順調に事業を進捗させております。

## イ. 認証プラットフォームサービス

他の通信事業者へ認証プラットフォームを提供しております。第1四半期連結会計期間におきまして、大型案件の売上を計上しております。当第3四半期連結累計期間における認証プラットフォームサービスの売上高は58,979千円(前年同期比38.5%増)となりました。

## ロ. その他法人向けサービス

「Wi-Fiインフラ事業」、「IoTサービス」及び「法人向けSIMサービス」の提供となります。段階的に拠点数及び顧客数を拡大させており、当第3四半期連結累計期間におけるその他法人向けサービスの売上高は202,644千円(前年同期比147.7%増)となりました。

## ③ その他

9月にIoT商品を集約した情報サイト「Monoteras(モノテラス)」を開設しております。同サイトで取り扱っている小型の紛失防止IoTデバイス「MAMORIO」の販売が好調であったこと等により、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は24,203千円(前年同期比79.7%増)となりました。

※新旧区分による売上高

(下線は、変更部分を示しております。)

旧区分による売上高		新区分による売上高	
① ワイヤレス・ブロードバンド事業	8,528,764千円	① ワイヤレス・ブロードバンド事業	8,605,049千円
イ. モバイルインターネットサービス	8,081,224千円	イ. モバイルインターネットサービス	8,081,224千円
ロ. 公衆無線LANサービス	447,539千円	ロ. 公衆無線LANサービス	447,539千円
		ハ. オプションサービス(注)1	76,285千円
② ワイヤレス・プラットフォーム事業	135,264千円	② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業	261,623千円
		イ. 認証プラットフォームサービス(注)2	58,979千円
		ロ. その他法人向けサービス(注)3	202,644千円
③ その他	226,847千円	③ その他(注)4	24,203千円
合計	8,890,876千円	合計	8,890,876千円

(注) 1. 電話リモートサービス、スマート留守電等の販売になります。旧区分においては、「② ワイヤレス・プラットフォーム事業」に含めて計上しておりました。

2. 認証プラットフォームの販売になります。旧区分においては、「② ワイヤレス・プラットフォーム事業」に含めて計上しておりました。

3. Wi-Fiインフラ事業、IoTサービス及びプリペイドSIMサービスの提供となります。旧区分においては、「③ その他」に含めて計上しておりました。

4. 「MAMORIO」や「ガラボンTV」等、主に物品の販売になります。旧区分における「③ その他」から、新区分における「② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業 ロ. その他法人向けサービス」を差し引いたものが、新区分における「③ その他」となります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ198,593千円減少し6,009,278千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ231,750千円減少し3,154,576千円となりました。これは主に、その他流動資産が17,256千円増加した一方で、現金及び預金が164,290千円及び売掛金が82,296千円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ33,156千円増加し2,854,702千円となりました。これはのれんの償却に伴い関係会社株式が116,164千円及び有形固定資産が29,646千円減少した一方で、投資その他の資産のその他が117,798千円及び無形固定資産が61,169千円増加したためであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ421,621千円減少し2,783,088千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ241,713千円減少し1,991,711千円となりました。これは主に、未払法人税等が161,865千円、及び買掛金が71,784千円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ179,908千円減少し791,376千円となりました。これは主に、長期借入金が180,000千円減少したためであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ223,027千円増加し3,226,189千円となりました。これは主に、非支配株主持分が93,945千円増加したこと、利益剰余金が57,289千円増加したこと、業績連動型株式報酬の支給に伴う自己株式の処分50,100千円が発生したこと、及び新株予約権の行使により資本金が11,931千円、資本準備金が11,931千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月3日に公表済の「平成29年12月期第2四半累計間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期連結業績予想に関しては売上高は当初予想のまま据え置き、通期営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については増額とする修正を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高についてはワイヤレス・ブロードバンド事業(BtoC事業)で、計画に織り込んでいた新たなSIMサービスの投入を見送ったこと等から、通期業績予想に対する実績進捗率は67.9%となっております。

一方、利益については子会社LTE-Xにおいて順調に事業を進捗させつつもコストを想定よりも抑えられたこと、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスにおいて想定よりも利益率が高くなっていること等から、上方修正した通期業績予想に対し営業利益実績は85.5%、経常利益実績は85.1%、親会社株主に帰属する当期純利益実績は81.2%と高い進捗率で推移しております。

引き続き、個人向けサービスを安定的に拡大させるとともに、法人向けサービスの強化を図ることで持続的な成長を目指してまいります。

連結業績予想に対する実績進捗率

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
(A) 当初連結業績予想 (平成29年2月13日公表済)	13,097百万円	650百万円	513百万円	336百万円
(B) 修正額	－百万円	168百万円	170百万円	78百万円
(C) 修正連結業績予想(A+B) (平成29年8月3日公表済)	13,097百万円	819百万円	683百万円	415百万円
(D) 当第3四半期連結累計期間 実績	8,890百万円	700百万円	581百万円	337百万円
(E) 修正連結業績予想に対する 実績進捗率(D÷C)	67.9%	85.5%	85.1%	81.2%

(配当予想)

平成29年2月13日に公表しました通期の連結業績予想より変更はありません。

	平成28年12月期(実績)	平成29年12月期(予想)
期末	27円00銭	28円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,914,944	1,750,654
売掛金	1,091,803	1,009,506
商品	260,126	258,367
仕掛品	9,381	10,564
その他	116,673	133,929
貸倒引当金	△6,602	△8,446
流動資産合計	3,386,327	3,154,576
固定資産		
有形固定資産	357,356	327,710
無形固定資産	50,006	111,175
投資その他の資産		
関係会社株式	1,554,658	1,438,493
その他	859,523	977,322
投資その他の資産合計	2,414,182	2,415,816
固定資産合計	2,821,545	2,854,702
資産合計	6,207,872	6,009,278
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,532,538	1,460,753
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	220,985	59,120
その他	239,901	231,837
流動負債合計	2,233,425	1,991,711
固定負債		
長期借入金	960,000	780,000
資産除去債務	11,285	11,376
固定負債合計	971,285	791,376
負債合計	3,204,710	2,783,088
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	871,465	883,396
資本剰余金	810,685	822,617
利益剰余金	1,564,594	1,621,883
自己株式	△279,076	△228,975
株主資本合計	2,967,668	3,098,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△988	△2,859
その他の包括利益累計額合計	△988	△2,859
新株予約権	7,235	6,935
非支配株主持分	29,245	123,191
純資産合計	3,003,161	3,226,189
負債純資産合計	6,207,872	6,009,278

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,225,453	8,890,876
売上原価	6,946,432	6,747,426
売上総利益	2,279,020	2,143,449
販売費及び一般管理費	1,292,370	1,442,694
営業利益	986,650	700,755
営業外収益		
受取利息	90	9
未払配当金除斥益	-	375
保険解約返戻金	1,487	-
その他	192	101
営業外収益合計	1,771	486
営業外費用		
支払利息	3,145	2,691
持分法による投資損失	116,164	116,164
株式交付費	86	295
上場関連費用	18,649	-
自己株式取得費用	3,997	-
その他	3	103
営業外費用合計	142,046	119,255
経常利益	846,376	581,986
特別利益		
新株予約権戻入益	-	300
特別利益合計	-	300
特別損失		
固定資産除却損	-	12,556
投資有価証券評価損	-	10,084
その他	-	3,377
特別損失合計	-	26,018
税金等調整前四半期純利益	846,376	556,268
法人税、住民税及び事業税	308,317	234,693
法人税等調整額	12,842	4,766
法人税等合計	321,159	239,459
四半期純利益	525,216	316,808
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	525,216	337,209
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△20,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,053	△2,916
その他の包括利益合計	△4,053	△2,916
四半期包括利益	521,162	313,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521,162	335,338
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△21,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

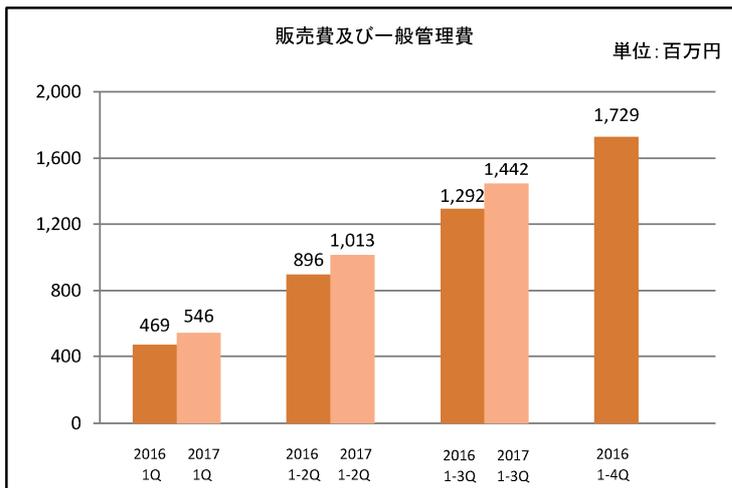
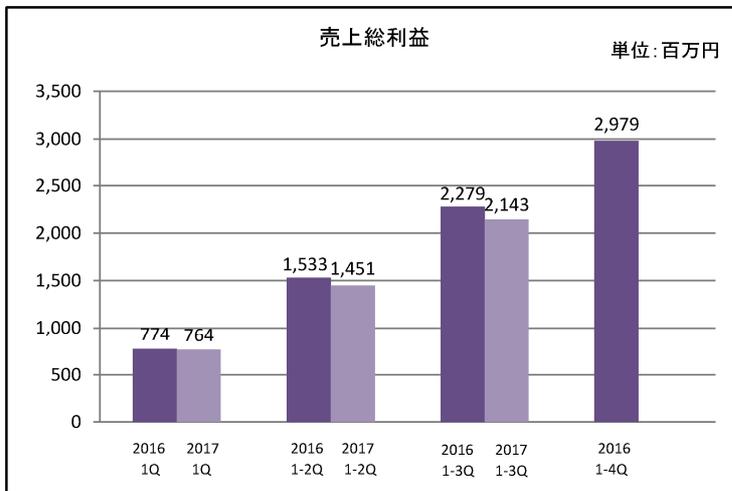
当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

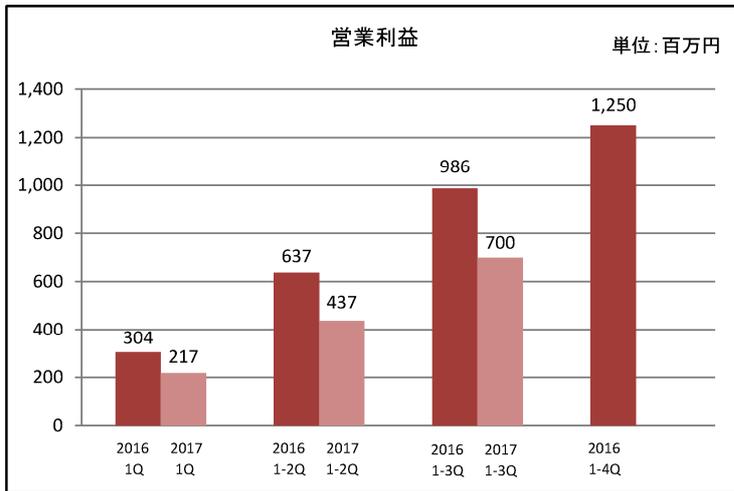
(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考資料

業績比較 (累計)





※上記の営業利益のうち、SIMに関わる事業の営業損益は以下のとおりであります。

単位：(百万円)

	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
2017年	△28	△76	△116	—
2016年	△44	△103	△160	△215

(注) 個人向け及び法人向けのSIMに関わるサービスを合算しております。

なお、各年度の第1四半期連結会計期間において、通信事業者との間で通信回線の借受費用に関する過年度・当年度分の遡及精算が行われております。

